

平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 岡本小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成31年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語 45 人

② 算数 45 人

5 留意事項

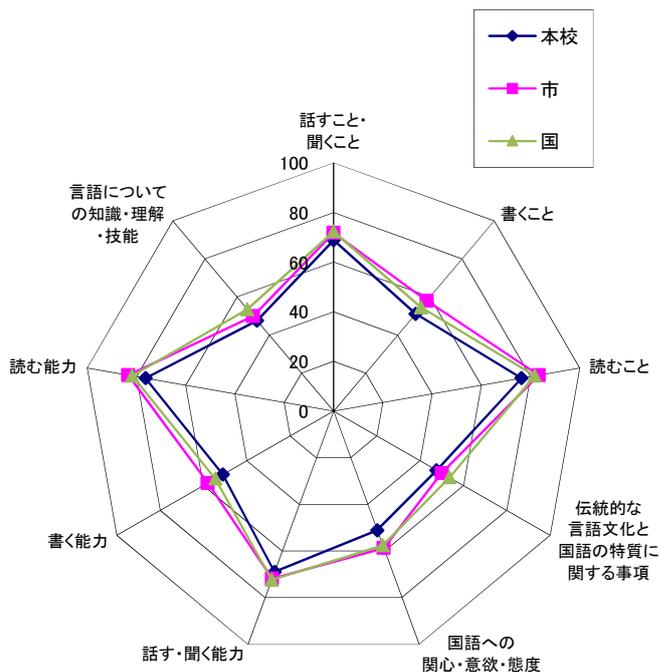
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立岡本小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.9	71.8	72.3
	書くこと	51.1	58.0	54.5
	読むこと	76.3	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	47.6	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	51.1	58.7	57.6
	話す・聞く能力	68.9	71.8	72.3
	書く能力	51.1	58.0	54.5
	読む能力	76.3	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	47.6	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

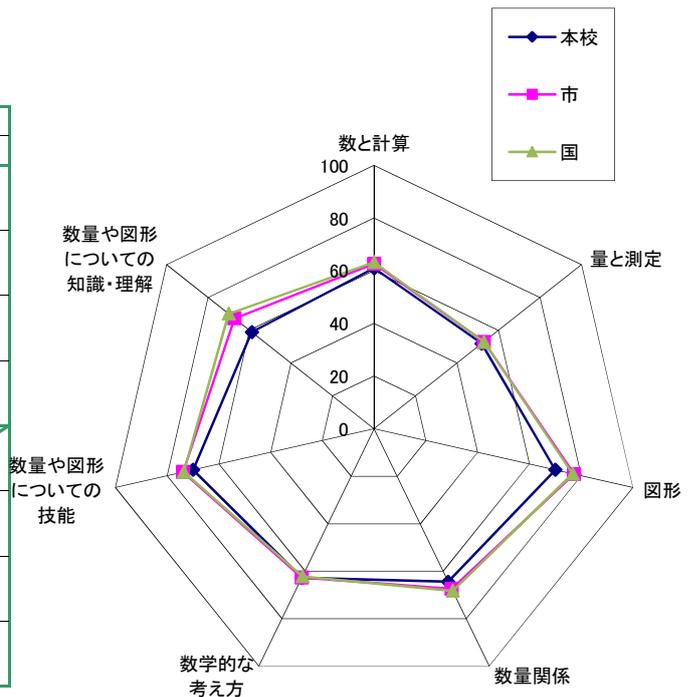
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、全国平均と比べてやや低い。</p> <p>○ 目的に応じて、質問を工夫する問題は比較的できている。</p> <p>● 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を聞く際は、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を注意深く聞き取ることを国語だけでなく他教科の学習においても指導していく。 必要に応じて質問したいことを整理したり、メモを工夫して取ったりする指導を継続し、聞く能力を育てていく。
書くこと	<p>平均正答率は、全国平均と比べてやや低い。</p> <p>○ 図表やグラフなどを用いた目的を捉える問題は比較的よくできている。</p> <p>● 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力を伸ばしていくために、文章を書く際のポイントを明確化する。 目的や意図に応じて書く事柄を整理したり、構成メモを作成して書いたりしていけるよう指導をしていく。
読むこと	<p>平均正答率は、全国平均と比べてやや低い。</p> <p>○ 目的に応じて目次の一部から読むページとして適切なものを選択する問題は比較的できている。</p> <p>● 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文や問題文で内容の要点を押さえ、本文の中から問われている事柄を見つけ出して整理していくことができるよう、キーワードに印をつけるなどの指導を行い、読み取る力の定着を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、全国平均と比べてやや低い。</p> <p>● 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題が見られる。</p> <p>● 漢字を文の中で正しく使う問題に課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや理由を書く際、1文を長く書くのではなく、文と文のつながりを考えながら接続語を用いて1文を2文に分けて書けるよう指導していく。文脈に沿って接続語の働きを正しく理解し使うことができるよう、他教科の学習においても、意図的に接続語を用いて表現していく機会を増やしていく。 漢字の学習では、多様な使い方を調べることや漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり書いたりする習慣を身に付けさせていく。

宇都宮市立岡本小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	61.0	62.7	63.2
	量と測定	51.9	52.9	52.9
	図形	70.0	77.3	76.7
	数量関係	64.4	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	62.8	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	70.0	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	58.9	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。</p> <p>○ 減法の式を解釈し適用することや、複数の数量から必要な数量を選び乗法の式を立式することがよくできている。</p> <p>● 小数の除法の意味について理解し、用いることに課題が見られる。</p>	<p>・ 四則演算の中では除法が最も難しいので、計算ドリルなどを用いて家庭での繰り返し練習を勧めるほか、学校でも朝の学習の時間などを用いて復習の機会を設け、計算技能の確実な定着を目指す。</p>
量と測定	<p>平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。</p> <p>○ 単位量当たりの大きさを基に答えを求め、条件に当てはまるかどうかを判断することが、比較的よくできている。</p> <p>● 資料の特徴や傾向を関連付けて水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することに課題が見られる。</p>	<p>・ 他教科とも連携して資料の性質や特徴を読み取る機会を多く設ける。また、主に国語科と連携して資料から読み取った内容等を適切に記述できるよう「書く力」の向上を目指す。</p>
図形	<p>平均正答率は、全国平均と比べて低いが、4領域の中では最も高い。</p> <p>○ 台形については概ねよく理解できている。</p> <p>● 図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することに課題が見られる。</p>	<p>・ 図形の基本的な性質については概ねよく理解できていることから、発展的な問題に多く取り組ませることで、図形の構成要素に着目して他の図形を構成することなどにも慣れさせる。</p>
数量関係	<p>平均正答率は、全国平均と比べてやや低い。</p> <p>○ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることが大変よくできている。</p> <p>○ 目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すことがよくできている。</p> <p>● 除法の式の意味の理解に課題が見られる。</p>	<p>・ 3年生での初学時に除法の意味について丁寧に指導する他、以降の学年で除法の筆算や小数・分数の除法を学習する際にも除法の意味についてよく考えさせ、系統的・螺旋的に指導を重ねることで除法の意味の理解を促す。</p>

宇都宮市立岡本小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分にはよいところがあると思いますか」との問いに対する肯定的回答の割合は86.7%で、全国平均よりも5.5ポイント高い。「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との問いに対する肯定的回答の割合は93.4%で全国の回答よりも7.3ポイント高く、教員に自分の良さを認められていると感じており、自己肯定感が高い。今後も教員全体で児童を褒め、認め、自己肯定感を高める指導を継続していく。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」との問いに肯定的回答の割合は95.6%で全国の回答よりも9.8ポイント高かった。また、「先生は、授業やテストで間違ったところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか」との問いに対する肯定的回答の割合は100%で全国の回答よりも8.3ポイント高い。今後も学校が安心安全な場であると感じてもらえるように努めていく。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対する肯定的回答の割合は100%であった。いじめゼロ強調月間に取り組んでいるいじめゼロ集会や道徳を要とした日頃の教育活動の成果と考える。引き続き指導していきたい。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」との問いに肯定的回答の割合は100%で、全国の回答よりも4.7ポイント高かった。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という問いに肯定的回答の割合が66.7%で全国の回答よりも12.2ポイント高い。どのように社会と関わり、よりよい人生を送るかということを考えることができる児童を増やし、学びに向かう力をさらに伸ばしていけるように、クリーン活動等の奉仕活動やギネス活動、学外の方との交流活動、地域学校園あいさつ運動などの活動を通じた指導を継続していきたい。

宇都宮市立岡本小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
言語に興味を持たせる指導の工夫と言語能力の育成	各学年・各教科で、言葉の特徴やきまり、教科の重要語句に重点を置いた指導を行うと共に、他の単元や教科でも既習の語句を繰り返し取り上げて意識させることで、言語に興味を持たせ、その定着を図る。	言葉の学習に関する問題の平均正答率は、接続語に関するものが40.0%と全国平均と比較して7.8ポイント低く、ことわざに関するものが84.4%で全国平均と比較して11.4ポイント高い結果となっている。
身に付けた言語能力を生かして考えを表現し、伝え合う授業の工夫	学習のねらいや見通しをつかむことができる明確な課題の提示を心掛けるとともに、友だちと意見交換をし合う場を意識的に設け、話し合いを通じて、考えを深めたり広めたりする手立ての工夫を行う。	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の質問に肯定的に回答した児童の割合は、82.2%で、全国平均と比較して74.1ポイント高い。